

# Canon

# IXY 25



**J**

日本語版

使用説明書

このたびは、キヤノンカメラIXY25をお求めいただきましてまことにありがとうございました。

このカメラは30mmから60mmの2倍ズームレンズを装備した新システム(Advanced Photo System)対応のカメラです。

この取扱説明書は新システムの便利な機能をご紹介しますとともに

撮影の準備

撮影方法(基本編)

と

撮影方法(テクニック編)

の3つに分けてカメラの取り扱いをわかりやすく説明しています。

まず 撮影の準備

と

撮影方法(基本編)

をよくご理解いただき

まして、次に

撮影方法(テクニック編)

をお読みください。

■ここに示した安全上のご注意は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。

それぞれの絵表示の意味は次のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

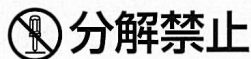
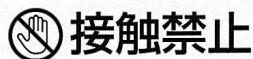


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。





■その他の絵表示一例：





- この製品は写真撮影以外の目的に使用しないでください。



電池編

-  このカメラで指定されている以外の電池は使わないでください。  
(電池の破裂、液漏れによる火災、けがの原因となります。)
-  電池は火の中に入れてたり、充電、ショート、分解、加熱しないでください。  
(電池の破裂、液漏れによる火災、けがの原因となります。)
-  電池はお子様の手の届かないところに置いてください。  
(万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。)
-  万一、カメラ(電池)が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常が起こった場合は、火傷に十分注意しながら直ちに電池を取り出してください。  
(火災、火傷の原因となります。)







ストロボ編

-  ストロボを人の目に近づけて発光させないでください。  
(目の障害の原因となります。)
-  ストロボの発光部を手で覆ったまま発光させないでください。  
(火傷の原因となります)






## 警告

そ  
の  
他

-  カメラには高電圧回路が組み込まれていますので、分解、改造はしないでください。(感電の原因となります。)
-  カメラの落下などで、カメラが破損し内部が露出したときは、絶対に露出部分に触れないでください。  
(感電の原因となります。)
-  ファインダーを通して太陽や強い光を見ないようにしてください。  
(視力障害の原因となります。)
-  自動車などの運転中にカメラを操作しないでください。また運転者に向けてストロボを発光させないでください。  
(交通事故の原因となります。)
-  カメラのストラップは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。  
(ストラップが首に巻き付き窒息の原因となります。)
-  カメラを水の中に落したり、内部に水が入ったら速やかに電池を抜いてください。  
(そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。)

 **注意**

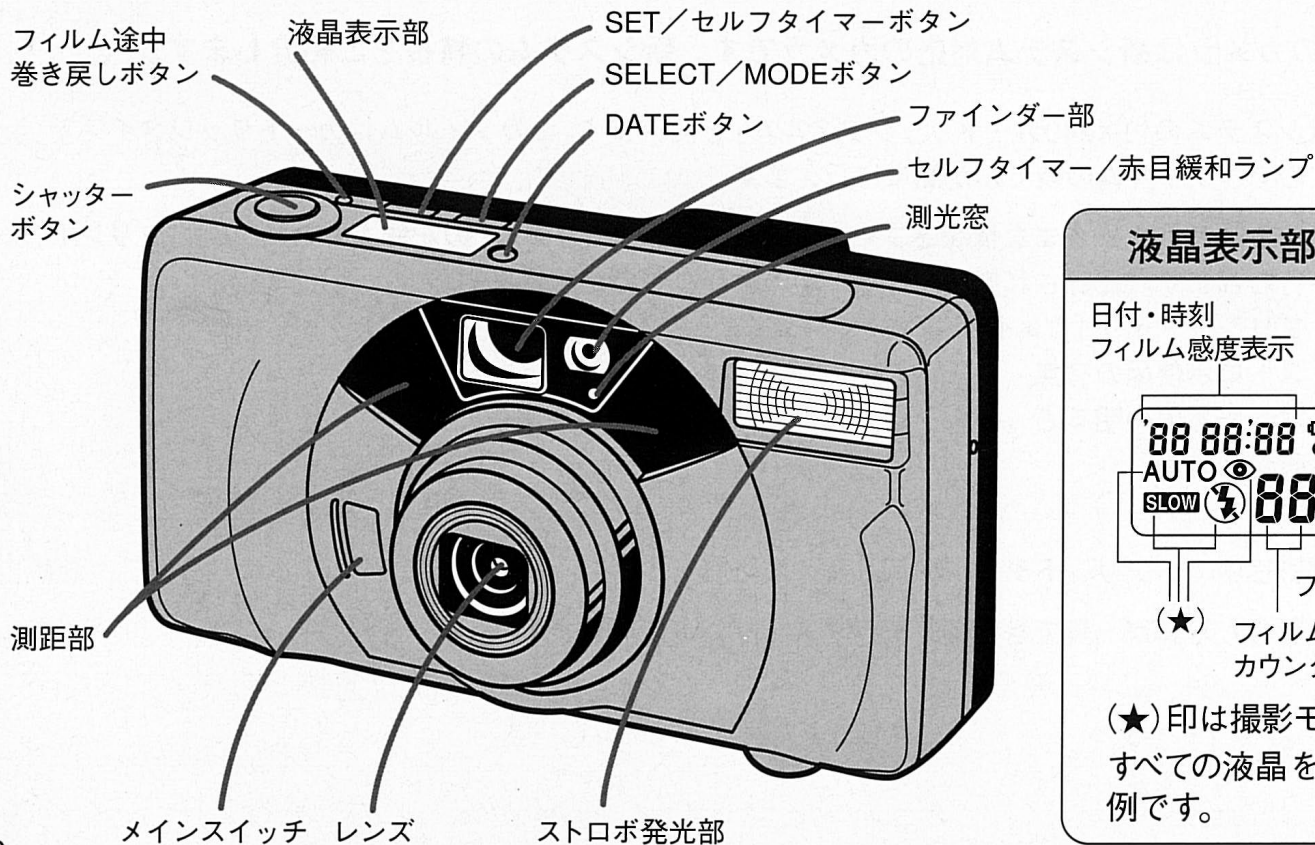
-  極めて高温または低温の場所にカメラを放置しないでください。  
(触れると火傷、けがの原因となります。)
-  湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。  
(火災、感電の原因となります。)
-  カメラをぬらしたり、内部に水などが入らないようご注意ください。  
(火災、感電の原因となります。)

# カメラの特長(新システム)

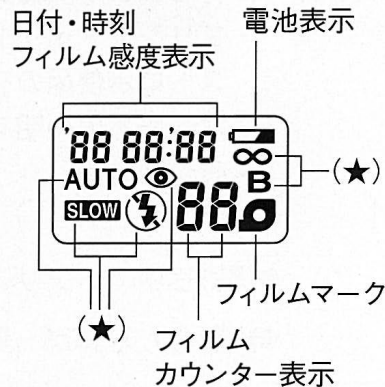
■このカメラは新システム対応のカメラです。新システムの特長をご紹介します。

- 新システムの「IX240カートリッジフィルム」を使います。このフィルムはカートリッジタイプですので、フィルムの装てんが簡単に行えます。
- このカメラはさまざまな情報をフィルム上に磁気記録します。その記録をもとに、現像、プリントが行われます。記録される情報には、次のようなものがあります。
  - ・プリントタイプ [Cタイプ(2:3)、Hタイプ(9:16)、Pタイプ(1:3)]
  - ・ストロボ使用の有無
  - ・写したものの明るさ
  - ・日付や時刻などです。
- 撮影途中でもプリントタイプの切り替えが可能です。
- 撮影した写真が一覧できるインデックスプリントができます。

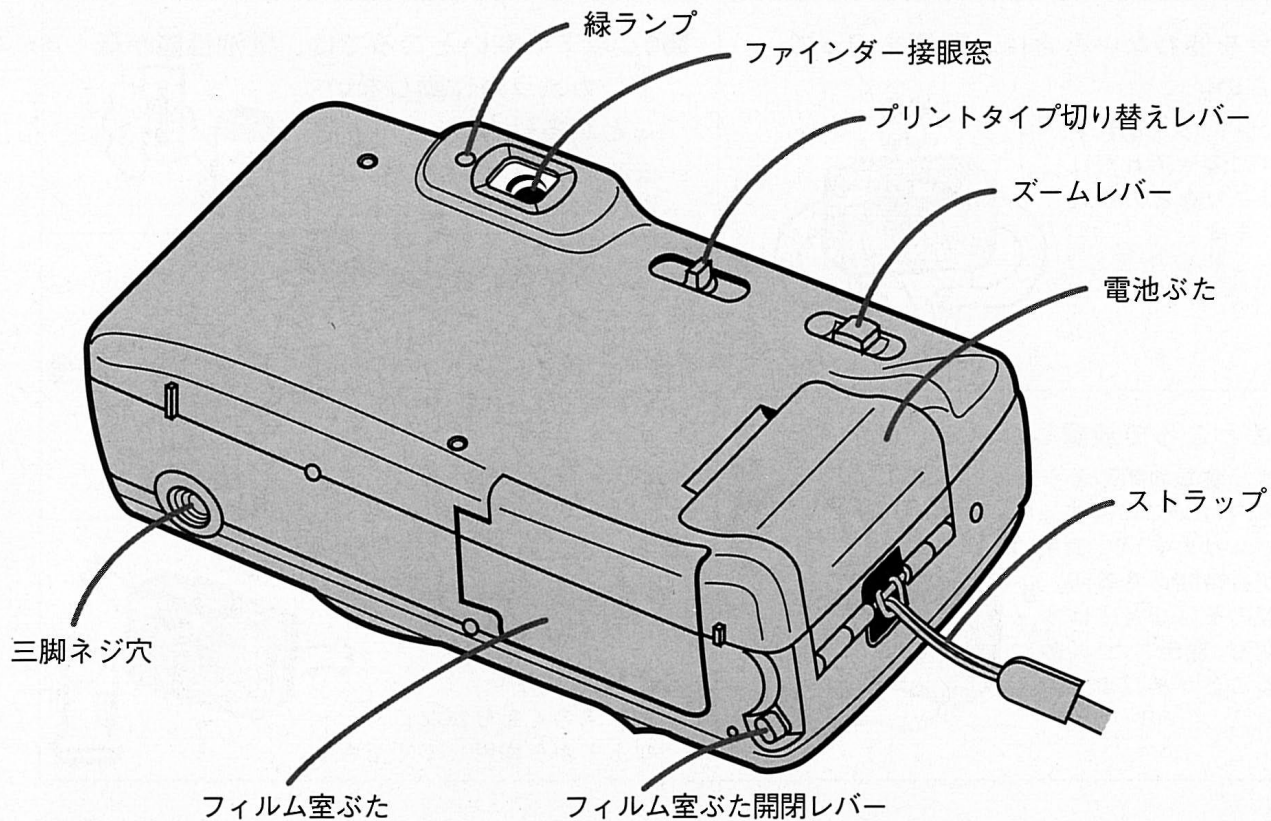
# 各部の名称



## 液晶表示部の名称



(★)印は撮影モード表示  
すべての液晶を表示した  
例です。

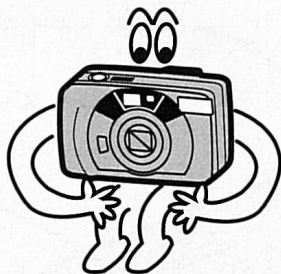




# 取り扱い上のご注意

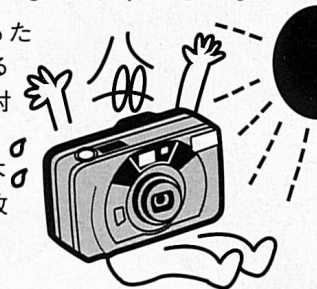
- カメラを使わないときは、電源を切ってください。

無駄なシャッター切れや、レンズに傷や汚れたり砂、ほこりなどの侵入を防ぎます。



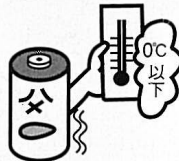
- 高温のところで放置しないでください。

例えば、夏季の閉めきった自動車内(100℃に達することもあります)や、直射日光が長時間あたる所、暖房器のそばなどでは本体が変形、変色したり、故障することがあります。



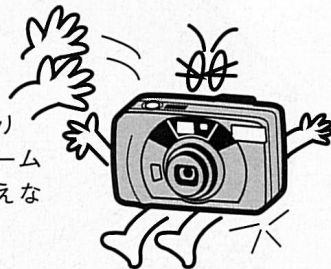
- 0℃以下の寒いところでは、電池性能が低下しカメラが作動しないことがあります。

低温で低下した電池は常温になれば回復します。



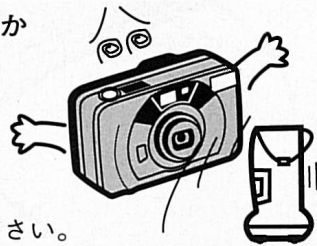
- 乱ぼうに扱わないでください。

カメラを水にぬらしたりショックを与えたり、ズームレンズに無理な力を加えないでください。



- 寒いところから急に暖かいところにはいると、レンズがくもることがあります。

レンズのくもりがなくしてから撮影してください。



# もくじ

- 安全上のご注意 ..... 1
- カメラの特長 ..... 5
- 各部の名称 ..... 6
- 取り扱い上のご注意 ..... 8

## 撮影の準備

- 電源を入れます ..... 10
- カメラのかまえ方をおぼえます ..... 11
- ファインダーの見方とランプの表示をおぼえます ... 12
- プリントタイプを選びます ..... 13
- ズームのしかたをおぼえます ..... 14
- 日付・時刻を選びます ..... 15
- 日付・時刻を合わせるとき ..... 16

## 撮影方法(基本編)

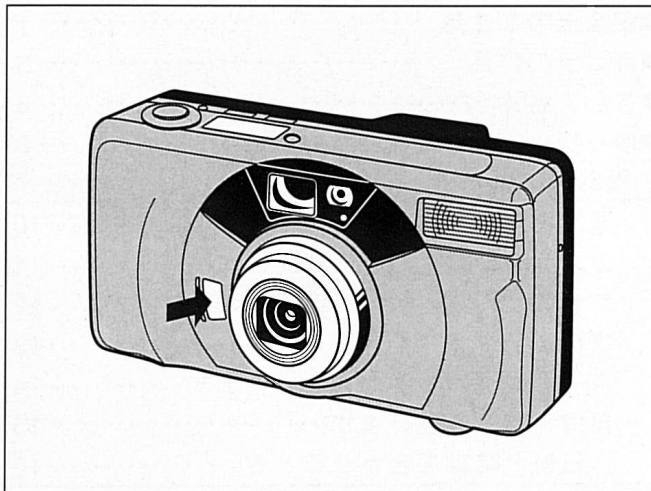
- フィルムを入れます ..... 18
- 自動撮影(ストロボAUTOモード) ..... 22
- ストロボ撮影できる距離 ..... 25
- 撮影が終わるとフィルムは自動的に巻き戻されます・26
- フィルムを途中巻き戻しするとき ..... 27
- フィルムの現像及びプリントについて ..... 28

## 撮影方法(テクニック編)

- フォーカスロック撮影 ..... 30
- こんなときもフォーカスロック撮影で ..... 32
- 撮影モードを選びます ..... 34
- 赤目緩和撮影(ストロボAUTO・赤目緩和モード) ... 36
- ストロボを強制的に使う撮影(ストロボONモード) ... 38
- スローシンクロ撮影  
(ストロボON・赤目緩和・スローシンクロモード) ..... 39
- ストロボを使わない撮影(ストロボOFFモード) ..... 40
- 遠景ロック撮影(ストロボOFF・遠景ロックモード) ... 41
- バルブ撮影 ..... 42
- 三脚を使って ..... 43
- セルフタイマー撮影 ..... 44
- 電池の交換時期は ..... 46
- カメラの保管やお手入れは ..... 48
- アフターサービスについて ..... 49
- カメラを修理に出す前に ..... 50
- 仕様 ..... 52

# 撮影の準備

電源を入れます カメラには電池が組み込まれています



- **メインスイッチを押します。**  
レンズ部が繰り出し、液晶表示部に表示が出ます。

※電源を切るときは、もう一度、メインスイッチを押します。

## カメラのかまえ方をおぼえます



横位置

縦位置

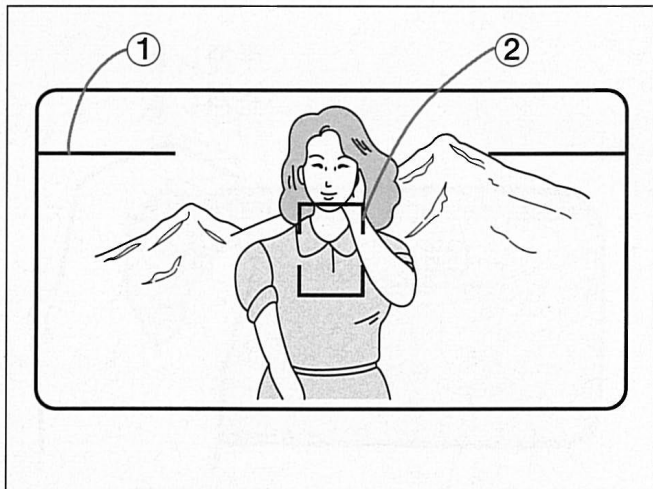
かまえ方は、手ぶれを防ぐため両わきをしめ、両手でしっかりカメラを持ちます。縦に持って撮影するときは、必ずストロボ発光部を上にしてかまえます。

※指や髪・ストラップなどが、レンズ部に触れたり、測距部・測光窓・ストロボ発光部をさえぎらないよう、気をつけてください。

シャッターボタンを押すときは、ボタンを指の腹で静かに押します。

※シャッターボタンの半押し状態とは、図のように指の腹で軽く押しファインダー横の緑ランプが点灯するときをいいます。

# ファインダーの見方と緑ランプの表示をおぼえます



## ● 構図の決め方は、

写したいものがファインダー内に余裕をもっておさまるよう構図を決め、ピントを合わせたいものにピント枠を合わせます。

※ピントを合わせたいものが、ピント枠からはずれるときは、フォーカスロック撮影をします。

(30ページ参照)

## ● ファインダーの見方

① 近距離撮影範囲枠(1.2m未満の距離で写すとき)  
この枠内に被写体が入るようにおさめます。

## ② ピント枠

シャッターボタンを半押しにするとピント枠内にあるものに自動的にピントが合います。

## ● 緑ランプの表示

シャッターボタンを半押しします。

・ 点灯……………撮影できます。

・ 速い点滅…被写体に近づきすぎです。

0.5m以内の被写体にはピントが合いません。離れて緑ランプの点灯を確認してから撮影してください。  
(約0.25m以内では、緑ランプは点滅しません)

・ 遅い点滅…手ぶれ警告です。

※シャッターボタンを半押しするときは、押しすぎるとシャッターが切れてしまいます。ご注意ください。

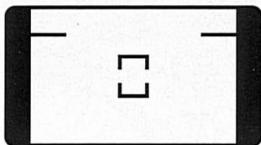


# プリントタイプを選びます

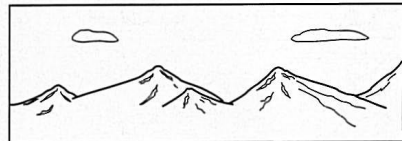
プリントタイプは  
3種類あります

撮影の準備

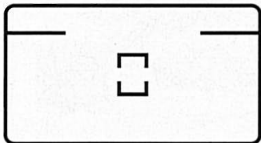
## Cタイプ



## Pタイプ



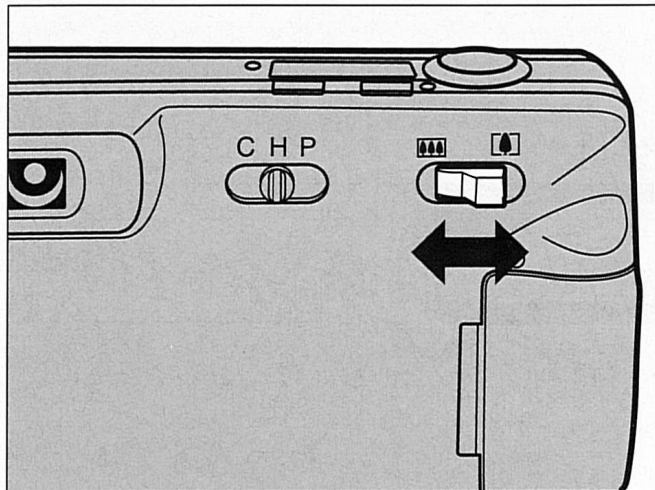
## Hタイプ



●プリントタイプ切り替えレバーを左右に動かすと、プリントタイプとファインダーが同時に切り替わります。図の黒い部分はプリントとされません。

# ズームのしかたをおぼえます

■望遠から広角まで構図を変えるときにズームレバーを操作します。



## TELE側

大きく写したいときに  
使用します。



## WIDE側

広い範囲のものを  
写したいときに  
使用します。



## ●ズームレバーを操作します。

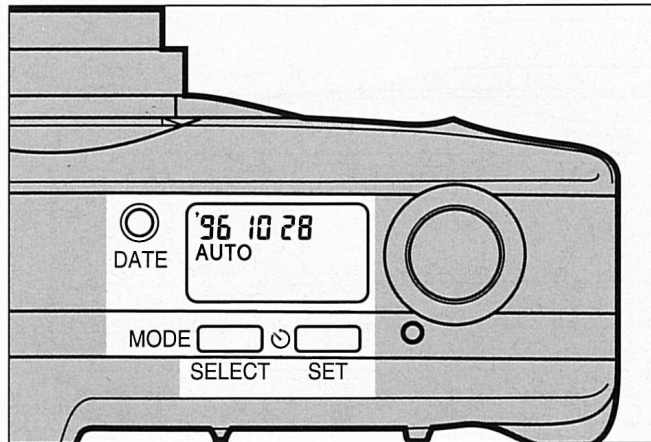
☑️側に押すと望遠(焦点距離60mm)側に、☑️側に押すと広角(焦点距離30mm)側にズームされます。

※ファインダーを見ながら好みの構図になったとき止めて撮影します。

※オートオフ(22ページ参照)になると、レンズは焦点距離30mm位置に自動的に戻ります。

# 日付・時刻を選びます — 日付や時刻が印字できます

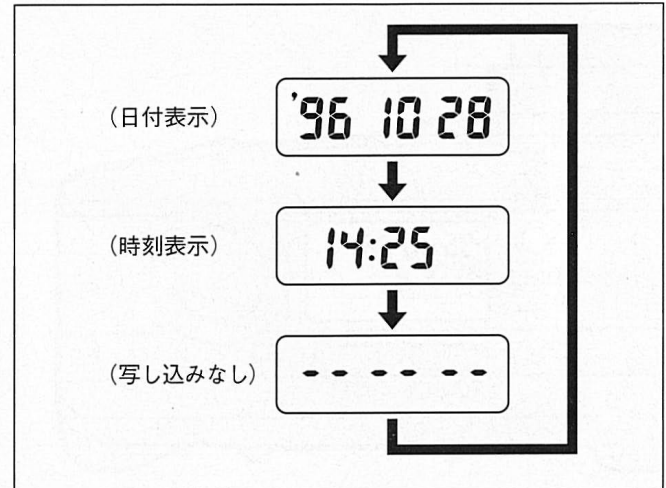
■ このカメラには2029年までの日付が記憶されています。



このカメラでは、磁気情報を使って日付や時刻がプリントの表裏両面に次のように印字されます。

液晶表示部	表面	裏面
'96 10 28	'96 10 28	'96 10 28
14 : 25	14 : 25	14 : 25
— — — —	印字なし	'96 10 28 14 : 25

■ 表示を切り替えたいとき



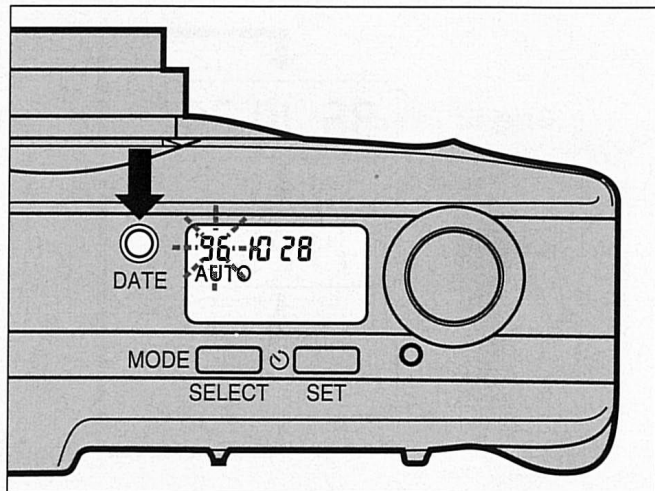
**1** メインスイッチを押して電源を入れます。

**2** DATEボタンを押します。

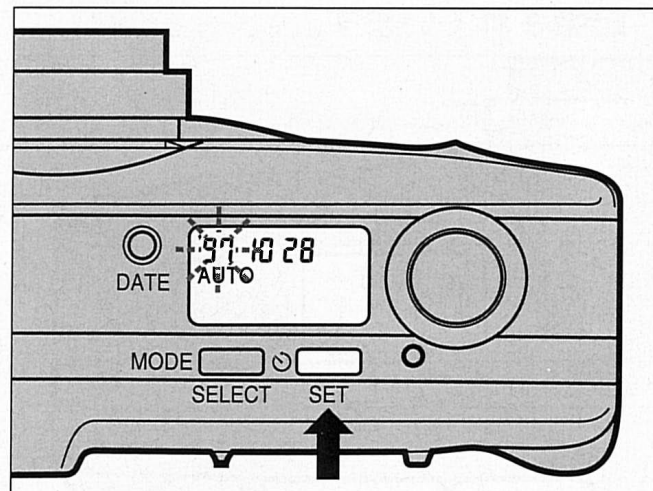
表示は、図の順序で切り替わります。

※現像・プリント店によっては、表面の印字に対応していないところもあります。詳しくは、お店の方にお問い合わせください。

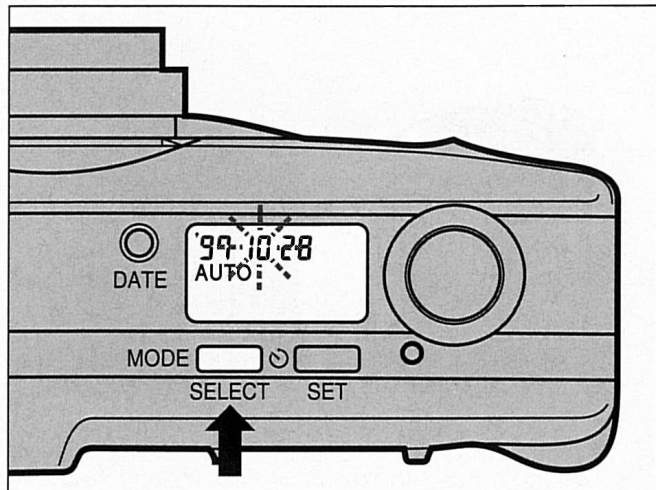
## ■ 日付・時刻を合わせるとき



- 1 メインスイッチを押して電源を入れます。
- 2 DATEボタンを“年の数字”が点滅するまで押し続けます。



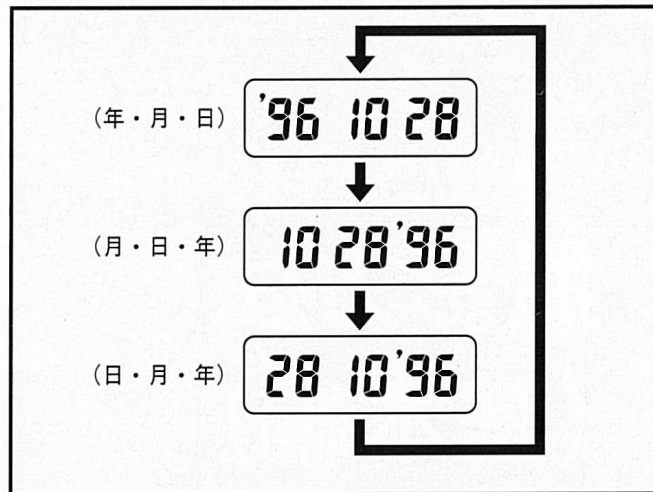
- 3 SET／セルフタイマーボタンを押して数字を変えます。  
ボタンを1回押す毎に“1”進み、押し続けると早送りができます。  
※年は29(2029年)のあと96(1996年)に戻ります。



**4** SELECT/MODEボタンを押すと“年の数字”が確定され“月の数字”が点滅します。

同様に“月”“日”“時”“分”も3と4の操作を繰り返して合わせてください。

■ “年・月・日”の順序を変えたいとき

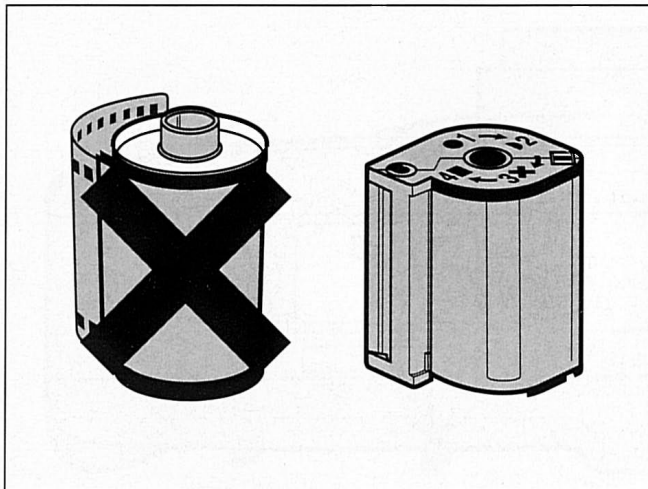


- 1** メインスイッチを押して電源をきります。
- 2** DATEボタンを表示が点滅するまで押し続けます。
- 3** SET/セルフタイマーボタンを1回押す毎に図のような順序で切り替わります。
- 4** 写し込みたい表示を出して、SELECT/MODEボタンで確定させます。



# 撮影方法 (基本編)

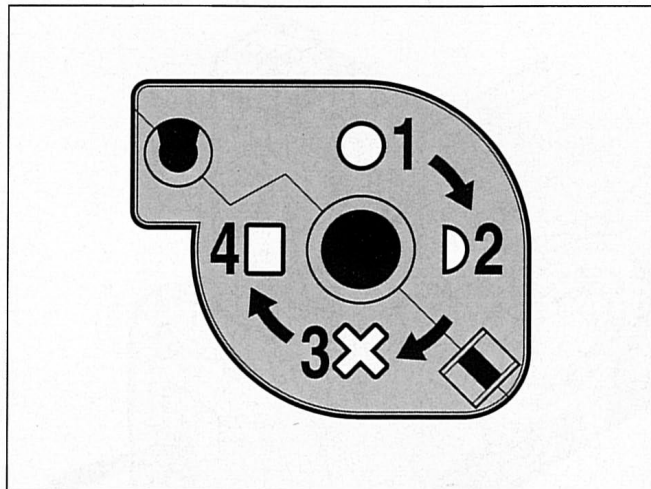
## フィルムを入れます



- IX 240カートリッジフィルム(以下フィルムと呼ぶ)を使用します。

※従来の135(35mm)フィルムは使用できません。

## 使用フィルム：IX240カートリッジフィルム

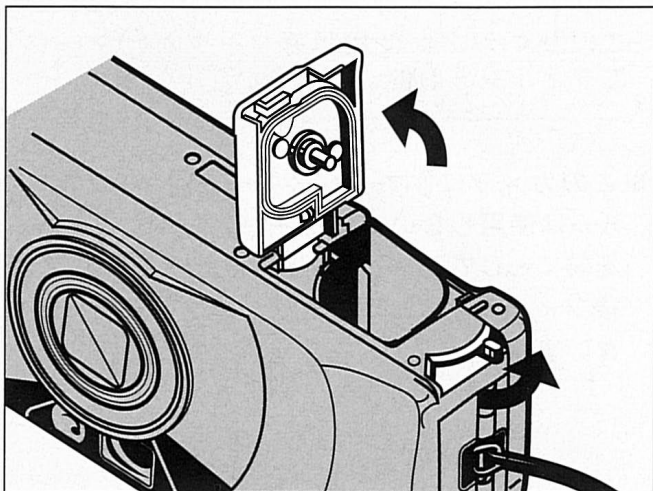


このカメラには、使用状態マークが○マークのフィルムをお使いください。

※このカメラにDマーク、Xマーク、□マークのフィルムは使用しないでください。もし、フィルムを装てんしてもフィルムは巻き上げられず、その後フィルムを取り出すとXマークに変わってしまいます。

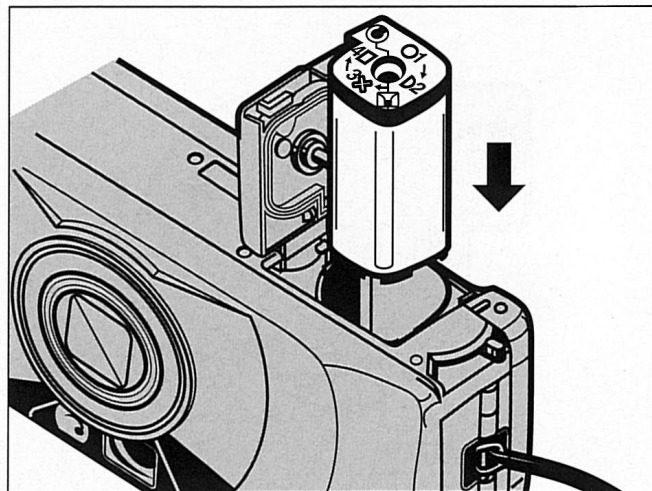
- フィルムは、使用状態を4つのマークでお知らせします。  
表示の内容は次のとおりです。

- 1 ○：新品のフィルムです。
- 2 D：途中まで撮影済みのフィルムです。
- 3 X：全コマ撮影済みのフィルムです。
- 4 □：現像済みのフィルムです。



- 1** フィルム室ぶた開閉レバーを押してフィルム室ぶたを開けます。

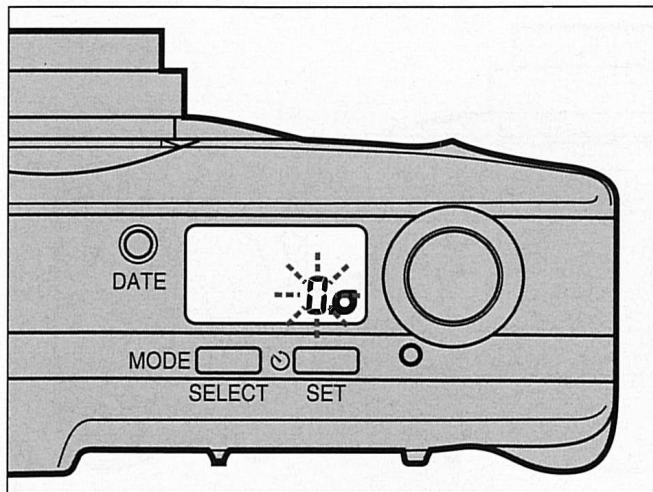
※フィルム室ぶたを開ける前に、必ず撮影途中のフィルムが入っていないことを液晶表示部の表示で確認してください。



- 2** フィルム室ぶた開閉レバーが開き方向にセットされていることを確認してからフィルムを入れ、フィルム室ぶたを閉じます。

フィルムは、1コマ目まで自動的に巻き上げられます。レンズカバーを開けると、電源が入り、液晶表示部にフィルム感度と撮影可能枚数が表示されます。

※フィルム感度の表示は数秒たつと消えます。



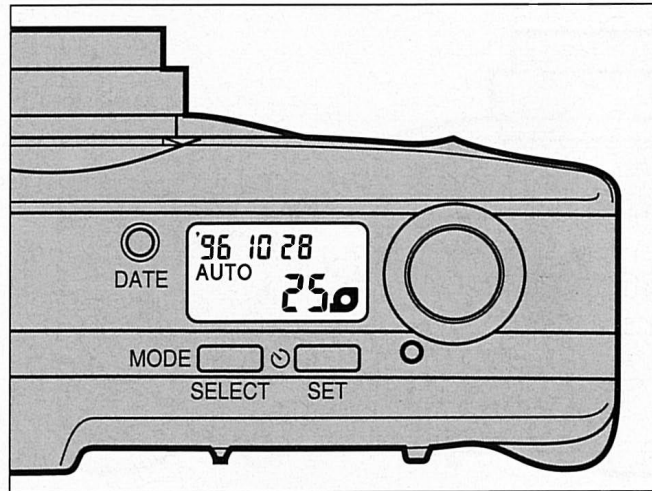
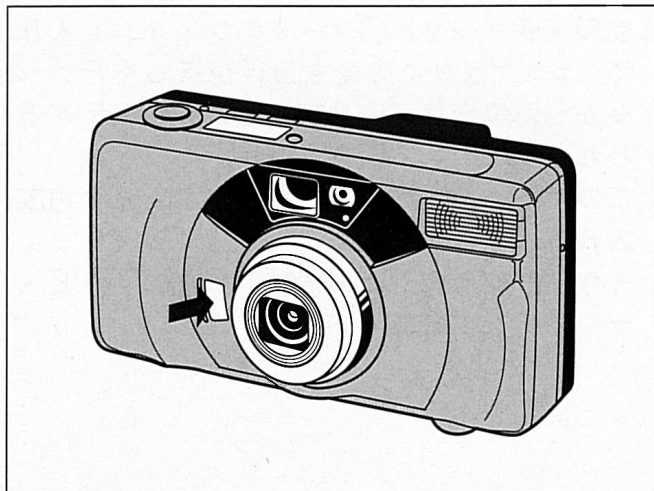
- ○マーク以外のフィルムを入れると、“0”が点滅します。  
○マークのフィルムを入れ直してください。

※使用状態マークが○マークのフィルムを入れて、1コマ目までの巻き上げが正しく行われなかった場合は、液晶表示部に図の表示が現われます。

この場合は、フィルムをいったん取り出し再度入れ直してください。

それでも表示が出る場合は、「キヤノンサービスセンター」にご連絡ください。

# 自動撮影 (ストロボAUTOモード) —— シャッターボタンを押すだけで



- 1 メインスイッチを押して電源を入れます。  
レンズ部が繰り出し液晶表示部に表示が出ます。

- 2 液晶表示部を確認します。  
図のようにAUTOモード表示“AUTO”が出ます。

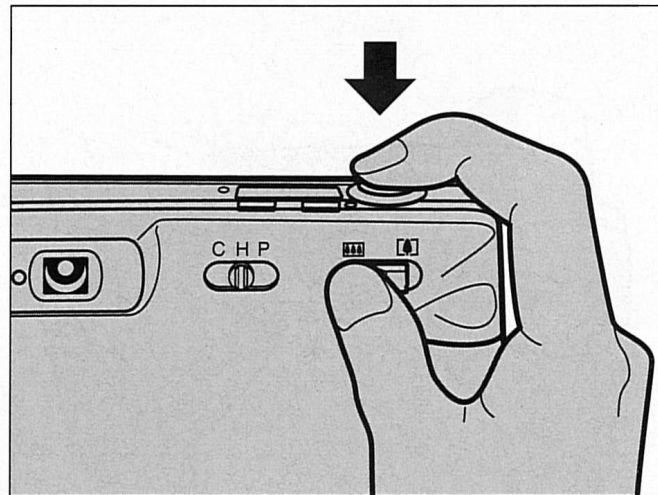
※電源が入った状態で約3分以上使わないと、節電のために液晶表示が自動的に消えます (オートオフ)。シャッターボタンを半押しすると表示が出ます。





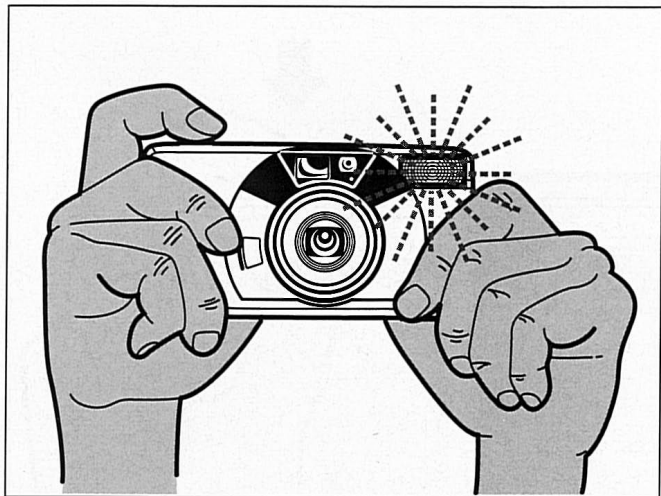
**3** 被写体にピント枠を合わせ、プリントタイプを選び、ズーム操作をします。

※ピントを合わせたいものがピント枠からはずれるときは、フォーカスロック撮影をします。(30ページ参照)

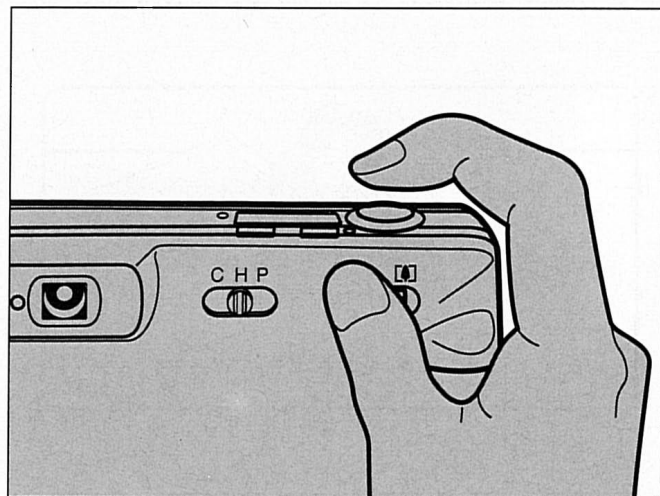


**4** シャッターボタンを押します。

※シャッターボタンを半押ししたとき緑ランプが速く点滅すれば、被写体に近づきすぎです。もう少し離れてください。

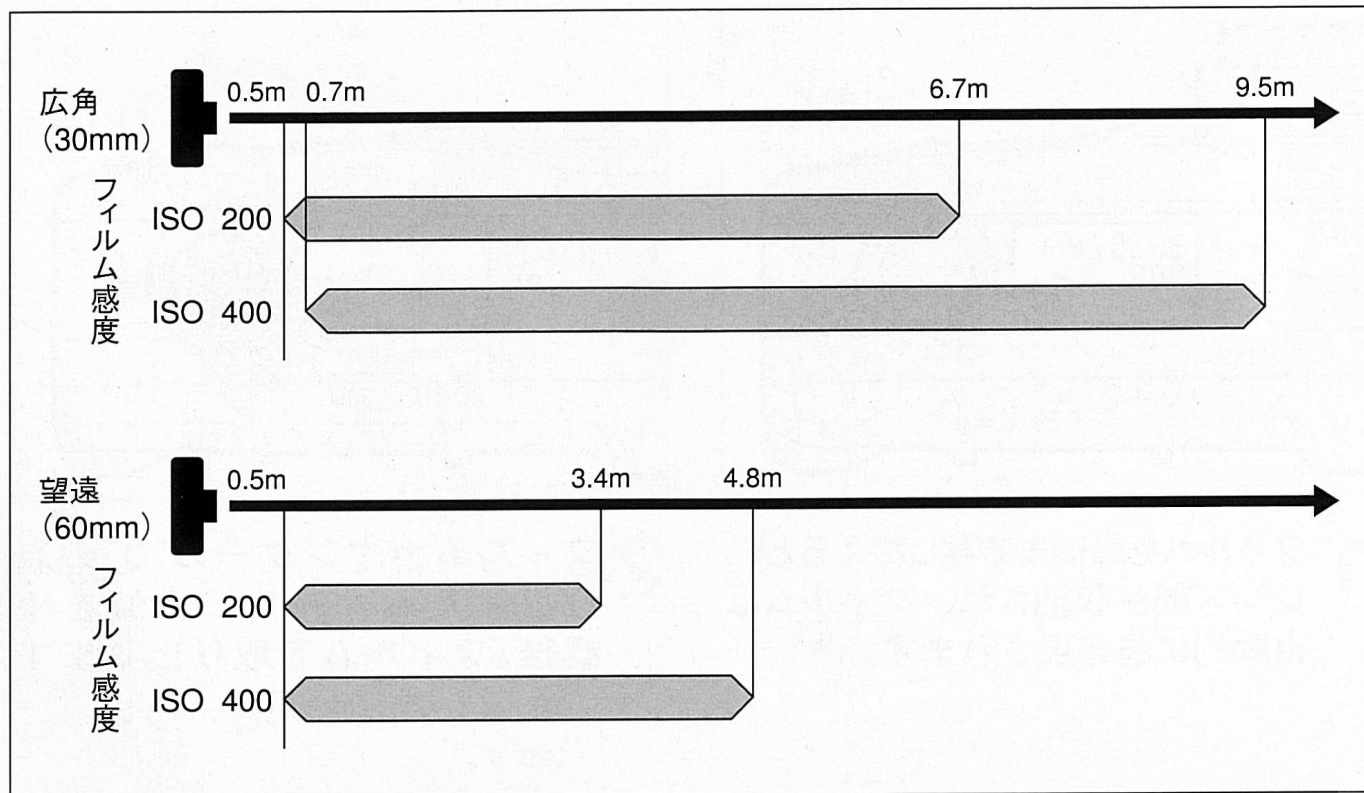


- 暗いときは、ストロボが自動発光します。

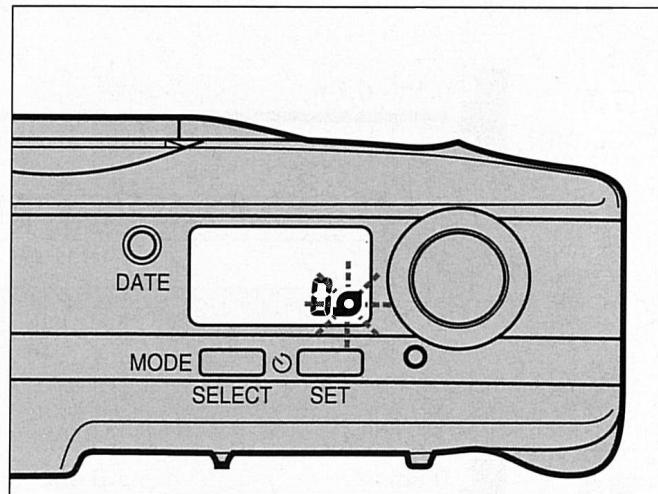
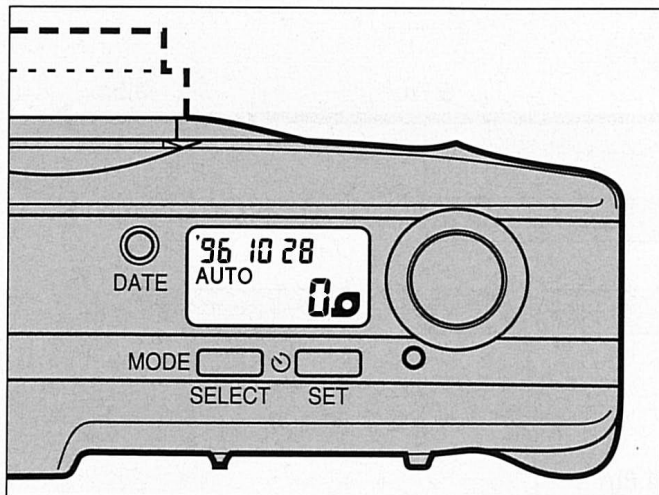


- シャッターが切れないときはストロボが未充電です。  
指を離し数秒待って、緑ランプの点灯を確認してからシャッターを切ります。

## ■ ストロボ撮影できる距離



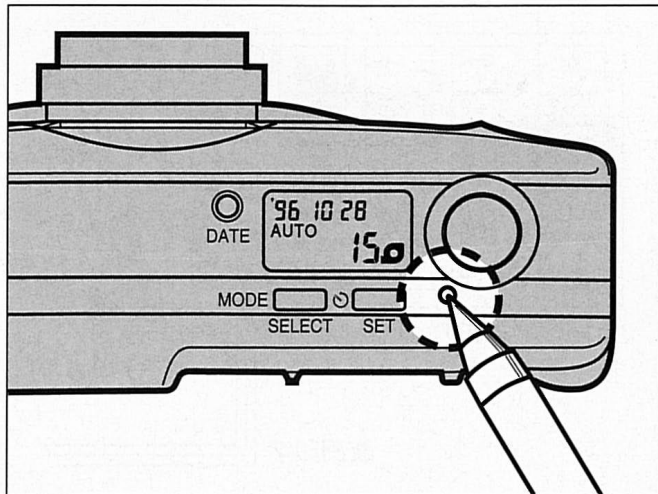
# 撮影が終わるとフィルムは自動的に巻き戻されます



**1** フィルムを最後まで写し終わると、レンズ部が収納され、フィルムは自動的に巻き戻されます。

**2** フィルムカウンターの“0”の点灯フィルムマークの点滅を確認後、フィルムを取り出します。

※取り出したフィルムは☒マークになっています。



●途中巻き戻しをするときは、フィルム途中巻き戻しボタンを押します。

ボールペンのようなもので押すと巻き戻しを始めます。

※このカメラで途中巻き戻しをしたフィルムは、☒マークになっています。

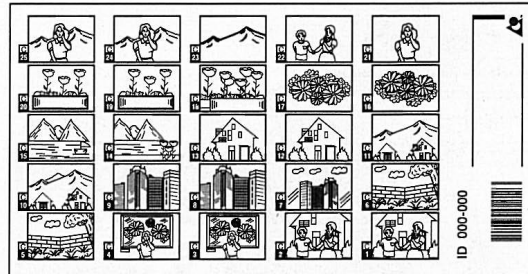
☒マークのフィルムは再度使用することはできません。

巻き戻し途中では、絶対にフィルム室ぶたを開けたり、電池を取り出したりしないでください。

フィルムの使用途中(撮影途中)では絶対にフィルム室ぶたを開けたりしないでください。カメラとフィルムにダメージを与えます。もし、開けてしまったら途中巻き戻しボタンを押してフィルムを巻き戻してください。

フィルム室ぶたを、開けたまま長時間放置しないでください。電池が速く消耗します。





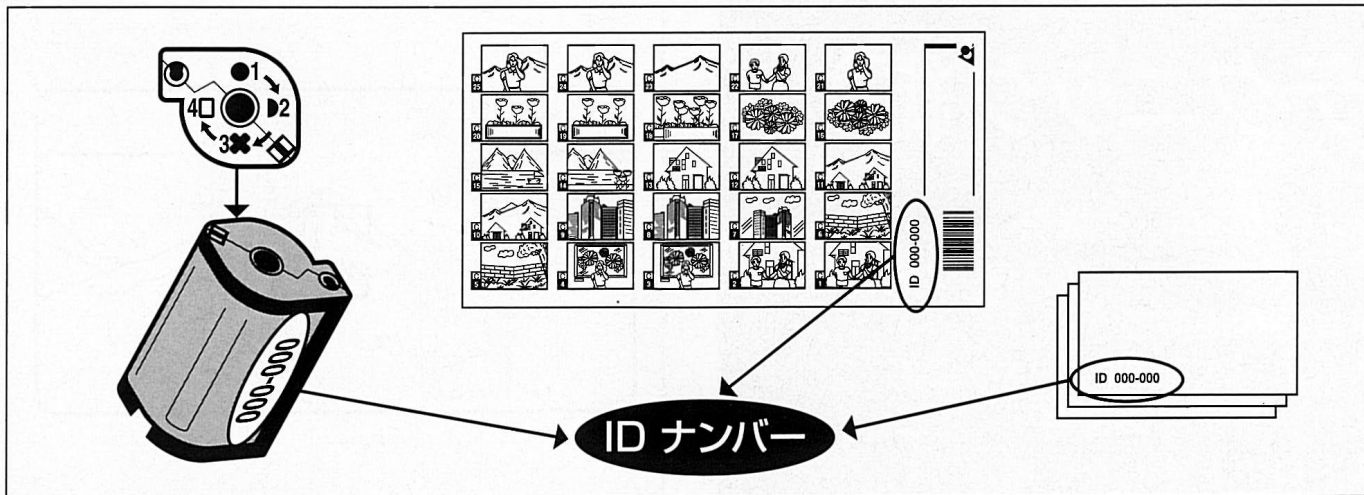
インデックスプリント

裏面印字

96 10 28

●現像・プリントは店頭にて図のマークを掲示している認定店でできます。また、認定店では、次のサービスを受けることができます。詳しくは、お店の方にお問い合わせください。

- ・現像後はカートリッジ内にフィルムを巻き取ってお返しします。
- ・撮影した写真が一覧できるインデックスプリントをお渡しします。
- ・3種類のプリントタイプに対応してプリントします。（焼き増しを注文するときに、プリントタイプを変更することができます。）



- ・プリント画像を補正します。
- ・日付・時刻をプリントの裏面に印字します。

※現像後に返却されるカートリッジは□マークになっています。

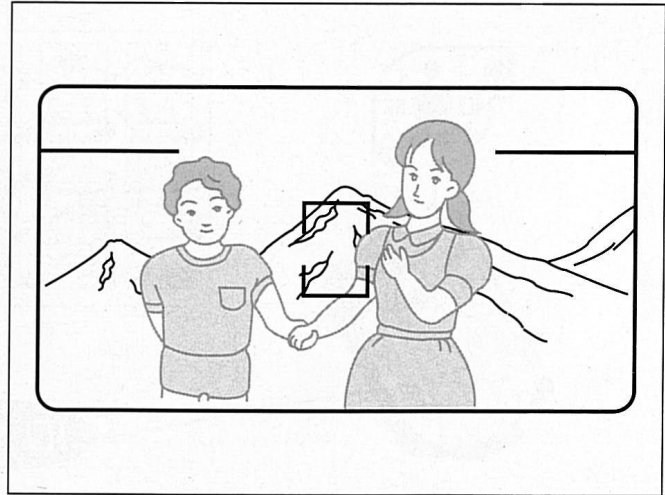
※カートリッジとインデックスプリントは大切に保管してください。

※焼き増しをするときは、焼き増しをしたい写真の裏面、またはインデックスプリントにかかっているIDナンバーと同じIDナンバーのカートリッジを認定店にお渡しください。

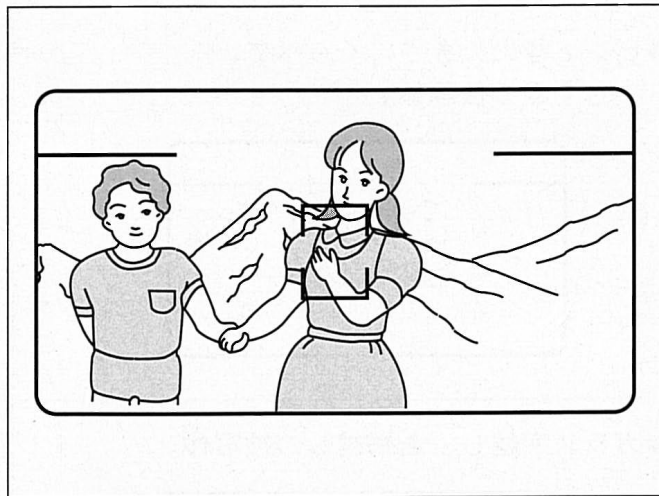
※カメラやカートリッジを強い磁気の発生する機器（テレビ等）に近づけないでください。

## 撮影方法 (テクニック編)

- フォーカスロック撮影
- こんなときもフォーカスロック撮影で
- 赤目緩和撮影
- ストロボを強制的に使う撮影
- スローシンクロ撮影
- ストロボを使わない撮影
- 遠景ロック撮影
- バルブ撮影  
(三脚を使って)
- セルフタイマー撮影



- 例えば、2人の人物を写したいときは、ピント枠内にどちらの人物も入らないと、ピントは後ろの景色に合い、人物がボケた写真になってしまいます。



- 1** ピント枠を一方の人物に合わせ、シャッターボタンを半押しします。ピントが合えば、緑ランプが点灯します。(これを「フォーカスロック」といいます。)

※フォーカスロックはシャッターボタンから指を離せば、何回でもやりなおすことができます。

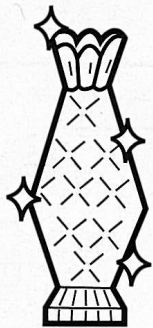


- 2** 半押しの状態で元の構図に戻し、シャッターボタンを押し込みます。これで人物にピントが合った写真になります。

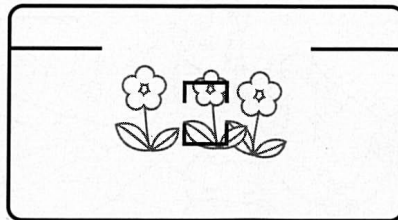
# こんなときもフォーカスロック撮影で——ピントが合いにくい

## ■ピントの合いにくい被写体

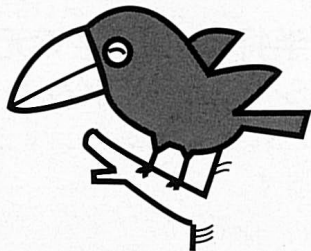
- 光が反射しやすい被写体。  
ガラス・金属・水面・  
カガミなど。



- ピント枠の大きさにくらべて、  
小さすぎる被写体。



- 光が反射しにくい被写体。  
髪の毛などの黒いもの、  
炎、煙。



- ガラス窓越し、金網越しの被写体。

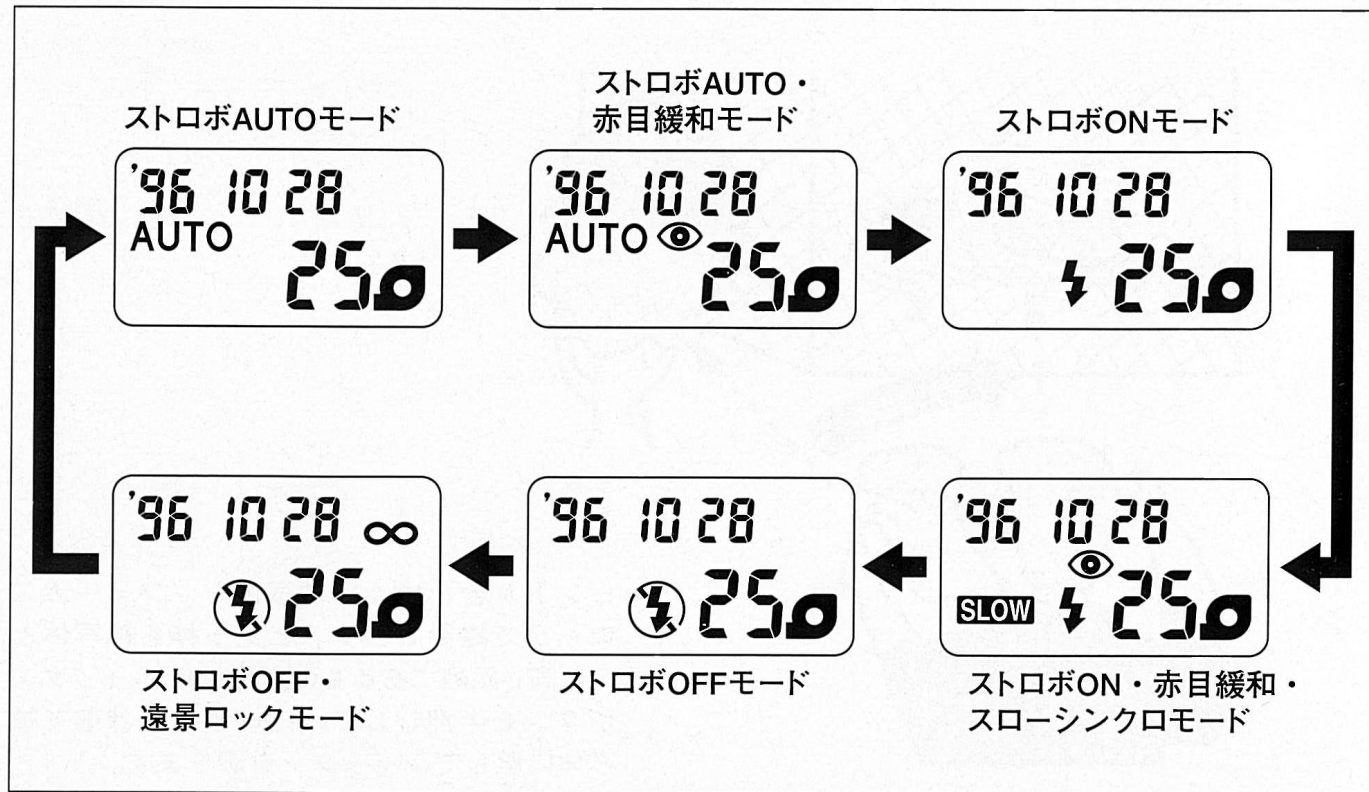


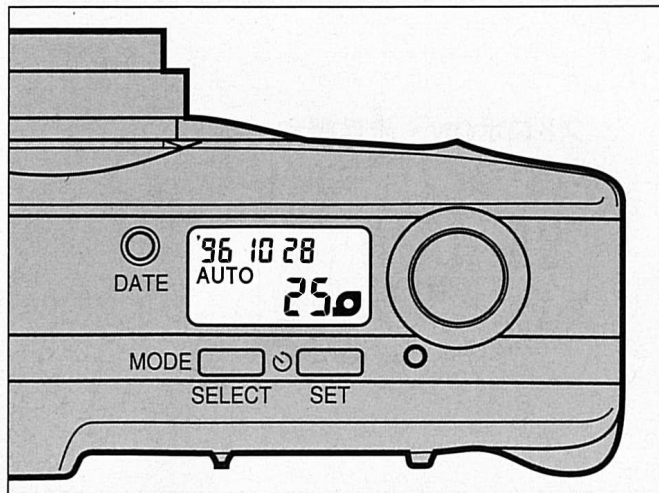




- ピントが合いにくい被写体も、フォーカスロックで撮影します。ピント枠を被写体とほぼ同じ距離にあるものに合わせ、シャッターボタンを半押しして、そのままの状態では被写体に戻してシャッターを切ります。

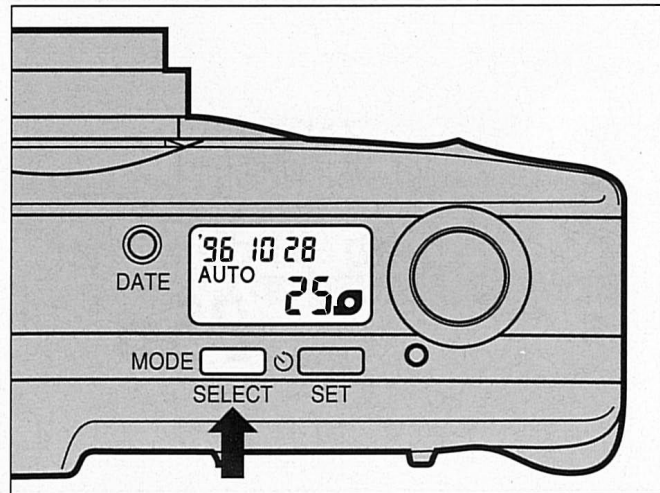
# 撮影モードを選びます —— 撮影の目的・条件に合わせて





- メインスイッチを押すと、電源が入り、液晶表示部には、ストロボAUTOモードまたは、ストロボAUTO・赤目緩和モードが表示されます。

※電源を入れたときにストロボAUTOモードとなるようにするにはストロボAUTOモードで電源を切ります。ストロボAUTO・赤目緩和モードも同様のことが行なえます。



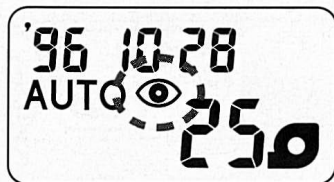
- 撮影モードを切り替えるときは、**SELECT**／**MODE**ボタンを押します。

ボタンを押すたびにモードは左ページの順序で切り替わります。

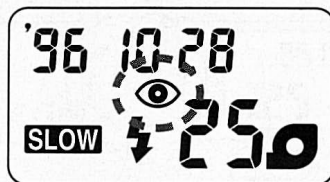
# 赤目緩和撮影 (ストロボAUTO・赤目緩和モード)

暗いところで人物などの目が赤く写るのを抑えるときに使います

ストロボAUTO・  
赤目緩和モード



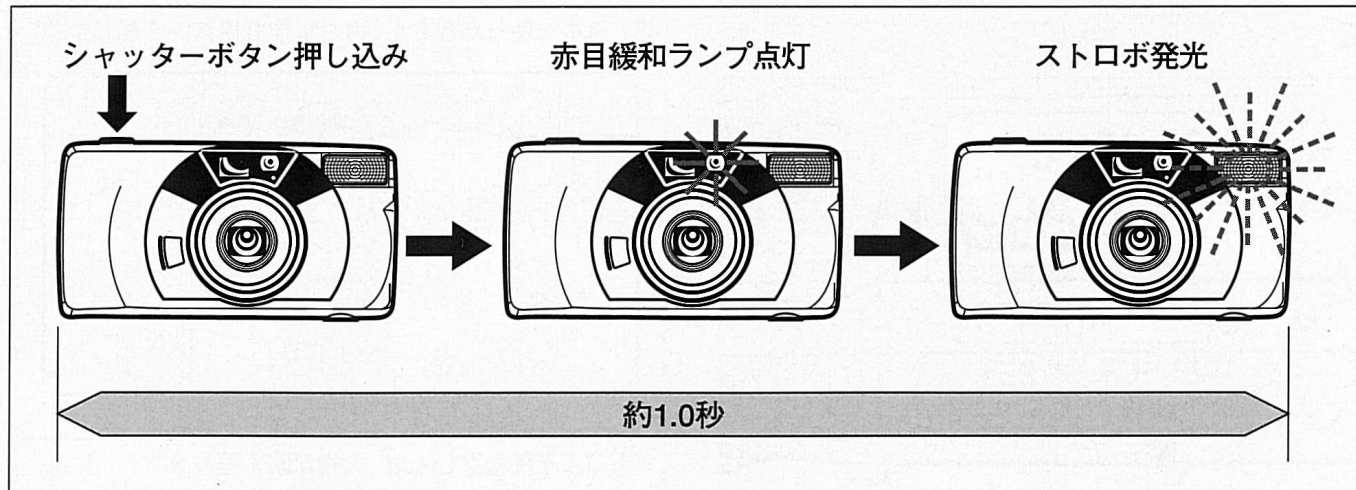
ストロボON・赤目緩和・  
スローシンクロモード



## 1 撮影モードを切り替えます。

※赤目緩和モードでも個人差や撮影条件により赤目が緩和されないことがあります。

※赤目緩和モードは写される人が、まっすぐランプを見つめていると効果があります。



## 2 シャッターボタンを押します。

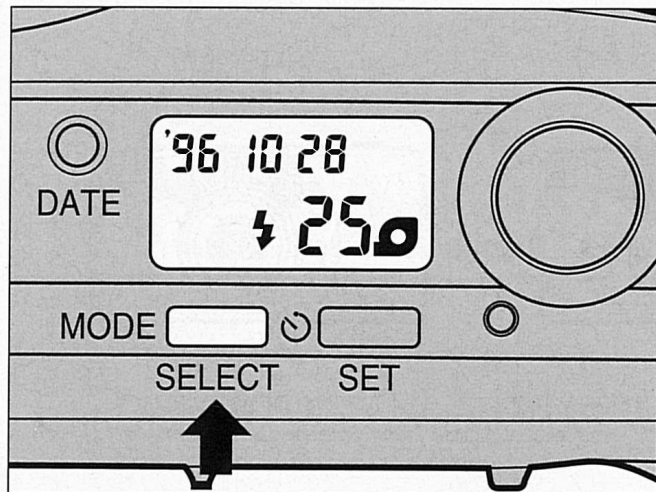
シャッターボタンを押し込むと、赤目緩和ランプが点灯し、その後ストロボの発光と同時にシャッターが切れます。

※シャッターボタンを押してシャッターが切れるまでの約1.0秒の間は、カメラを動かさないでください。



# ストロボを強制的に使う撮影 (ストロボONモード)

木陰や窓ぎわなどの逆光での人物をきれいに写す方法です



**1** SELECT/MODEボタンを押してストロボONモードにします。

**2** シャッターボタンを押します。

ストロボを使ったとき(人物も背景もきれいに写ります)



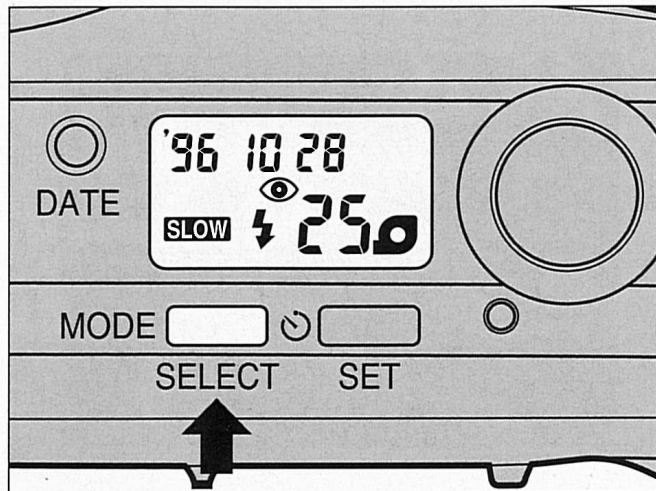
ストロボを使わないとき(人物が暗く写ります)



# スローシンクロ撮影 (ストロボON・赤目緩和・スローシンクロモード)

撮影方法  
(テクニック編)

夜景をバックにストロボ撮影すると背景は露出不足になります。背景も明るく写す方法です



**1** SELECT/MODEボタンを押してストロボON・赤目緩和・スローシンクロモードにします。

スローシンクロ撮影  
夜景も人物もバランスよく写ります。



通常のストロボ撮影  
夜景は写りません。

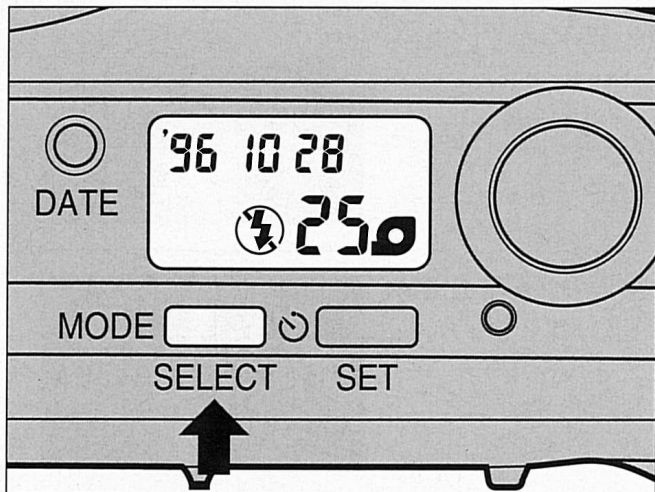


**2** シャッターボタンを押します。

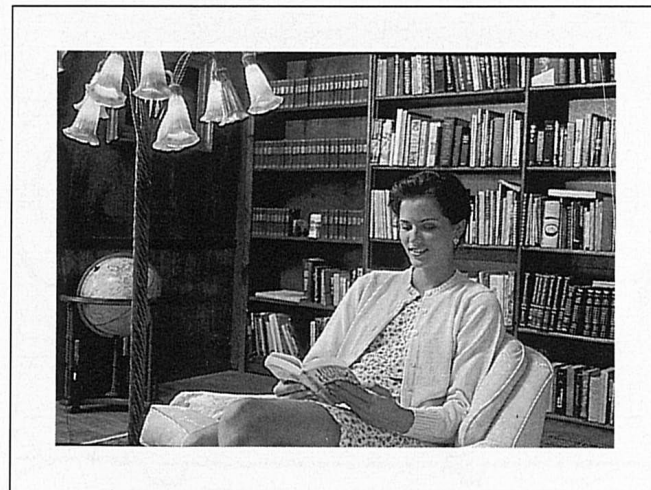
※シャッターボタンを半押しにしたとき緑ランプがゆっくり点滅すれば、シャッタースピードが遅くなり、またはバルブ撮影(42ページ参照)になり手ぶれの恐れがあります。この場合は、三脚のご使用をおすすめします。(43ページ参照)

# ストロボを使わない撮影 (ストロボOFFモード)

ストロボを使えない美術館内やその場のムードを生かした写真などを写すとき使います



**1** SELECT/MODEボタンを押してストロボOFFモードにします。



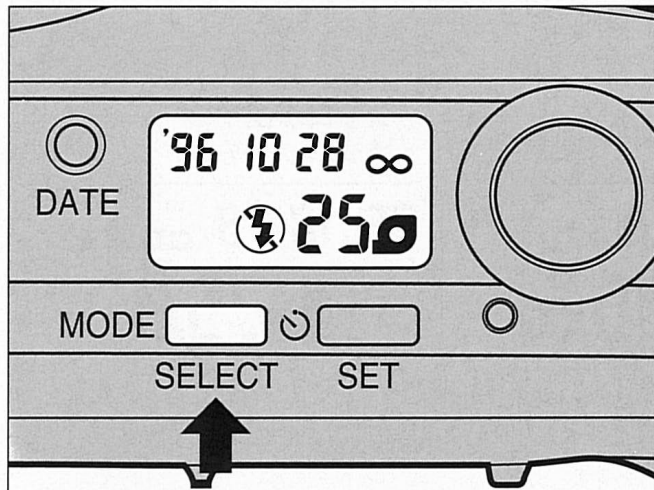
**2** シャッターボタンを押します。

※シャッターボタンを半押しにしたとき緑ランプがゆっくり点滅すれば、シャッタースピードが遅くなり、またはバルブ撮影(42ページ参照)になり手ぶれの恐れがあります。この場合は、三脚のご使用をおすすめします。(43ページ参照)

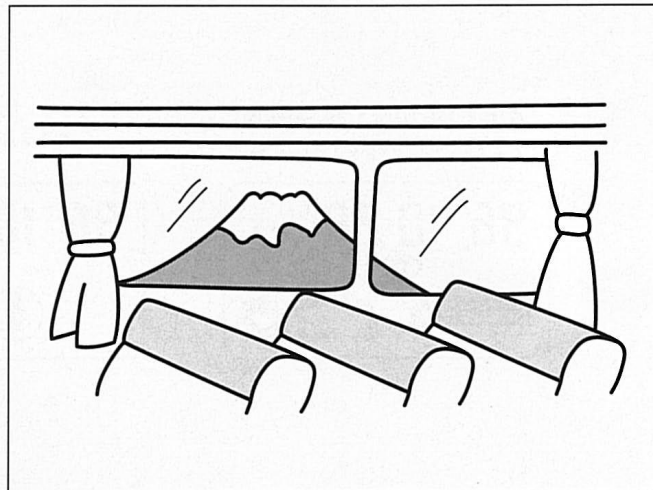
# 遠景ロック撮影 (ストロボOFF・遠景ロックモード)

撮影方法  
(テクニック編)

遠景やガラス越しの風景をきれいに写す方法です



**1** SELECT/MODEボタンを押してストロボOFF・遠景ロックモードにします。



**2** シャッターボタンを押します。

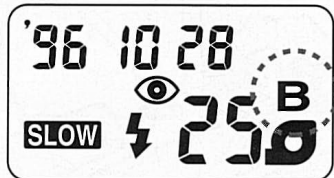
※シャッターボタンを半押しにしたとき緑ランプがゆっくり点滅すれば、シャッター速度が遅くなり、またはバルブ撮影(42ページ参照)になり手ぶれの恐れがあります。この場合は、三脚のご使用をおすすめします。(43ページ参照)

# バルブ撮影

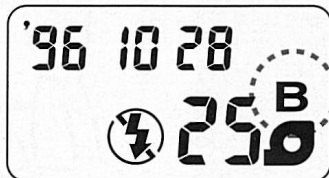
シャッターが自動的に開放して夜景や花火などが写せます

バルブとはシャッターボタンを押している間(最長30秒)シャッターが開放することをいいます

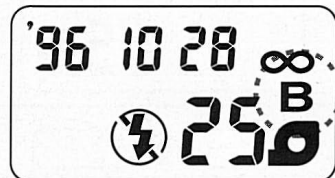
ストロボON・赤目緩和  
スローシンクロモード



ストロボOFFモード



ストロボOFF・  
遠景ロックモード



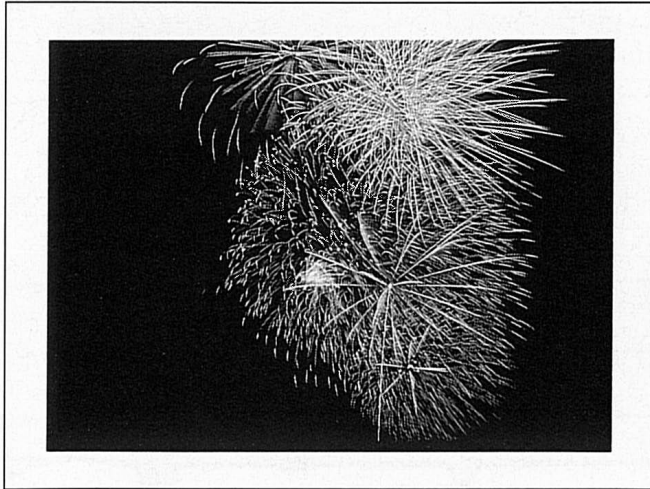
- 夜景など暗いところで図のモードのいずれかを使うと、シャッターボタンを半押ししたとき液晶表示部に“B”が表示され、自動的にバルブ撮影になることを知らせます。

その後シャッターボタンを押し込むと、液晶表示部のフィルムカウンターがタイマー表示に変わって1秒から順算を始めます。シャッターボタンから指を離すと、シャッターが閉じます。

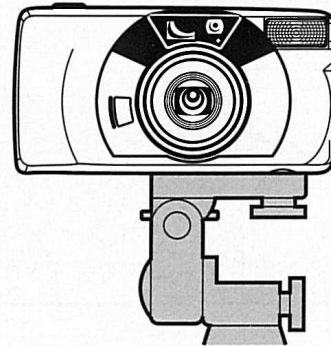
※30秒以上シャッターボタンを押し続けても、シャッターは自動的に30秒で閉じます。



### 三脚を使ってカメラを固定します



- バルブ撮影で打上げ花火などもきれいに写せます。
- ※バルブの時間は被写体によって異なりますので露光時間を変えて何枚か写してください。

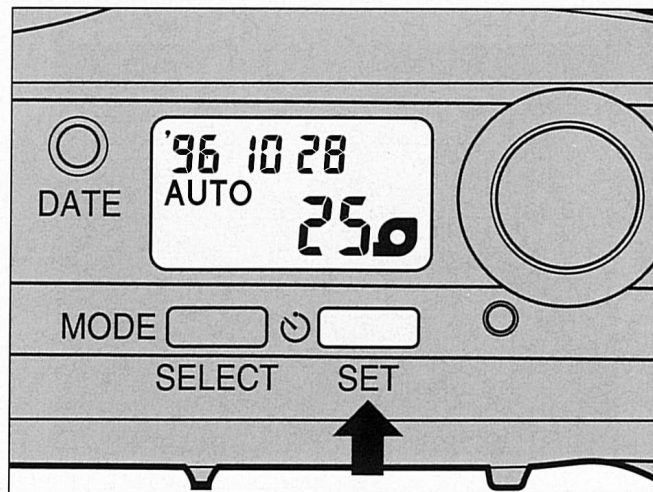
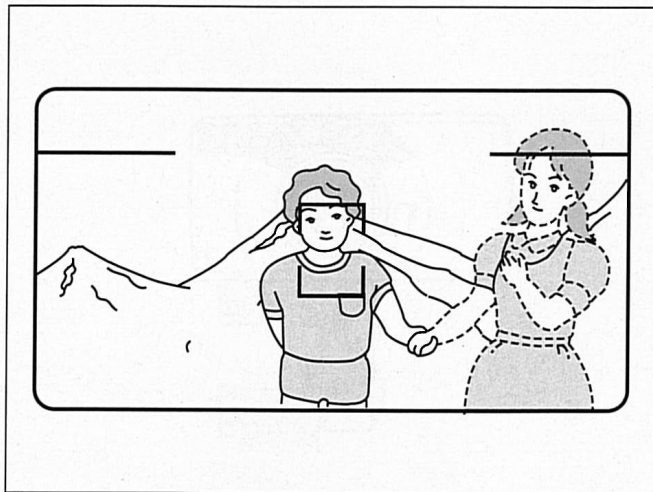


セルフタイマー撮影時や、バルブ撮影時などの手ぶれの恐れがあるときにご使用ください。

※カメラの底面に三脚ネジ穴があります。

# セルフタイマー撮影

自分もいっしょに写りたいときの撮影方法です

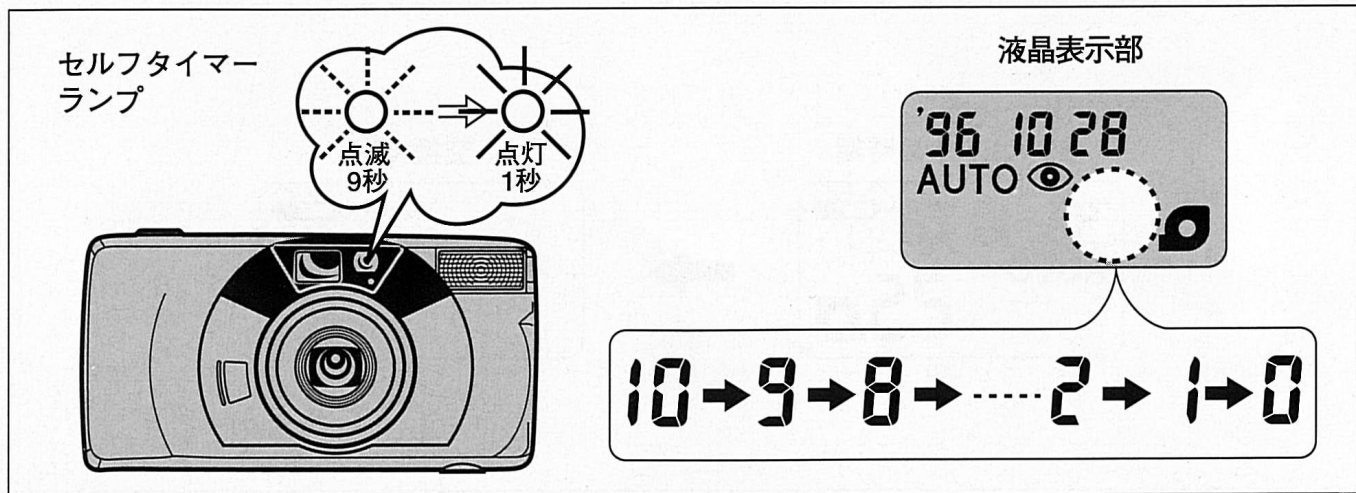


**1** 三脚などにカメラをしっかり固定して、構図を決めます。

セルフタイマー撮影では、フォーカスロックはできませんので、写したいものや自分自身にピント枠が合うように構図を決めます。

**2** SET/セルフタイマーボタンを押します。

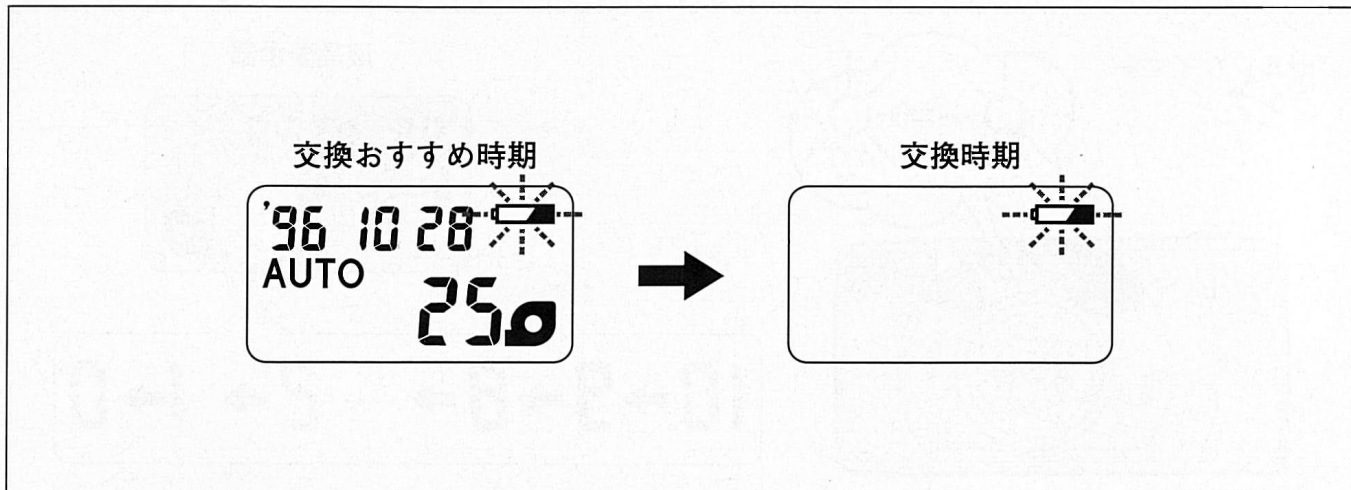
※ストロボ未充電の場合は、セットできませんので、数秒待ってからSET/セルフタイマーボタンを再度押してください。



- セルフタイマーがセットできると、セルフタイマーランプが図のように点滅・点灯し、また、液晶表示部のフィルムカウンターがタイマー表示に変わって逆算を始め、約10秒後シャッターが自動的に切れます。

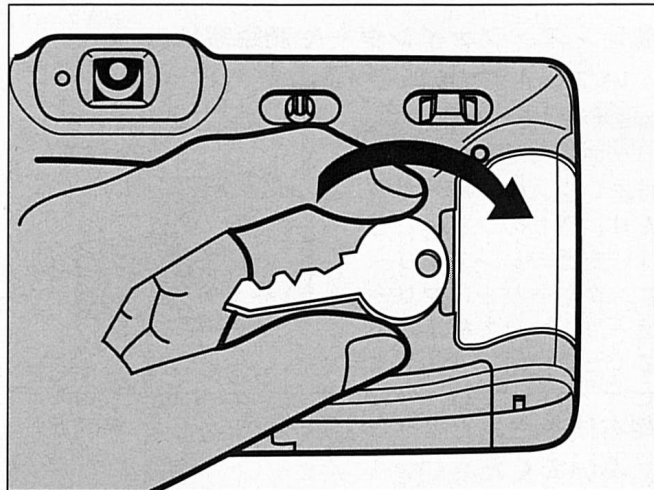
※セルフタイマーを途中解除するときは、SET/セルフタイマーボタンをもう一度押します。

# 電池の交換時期は…

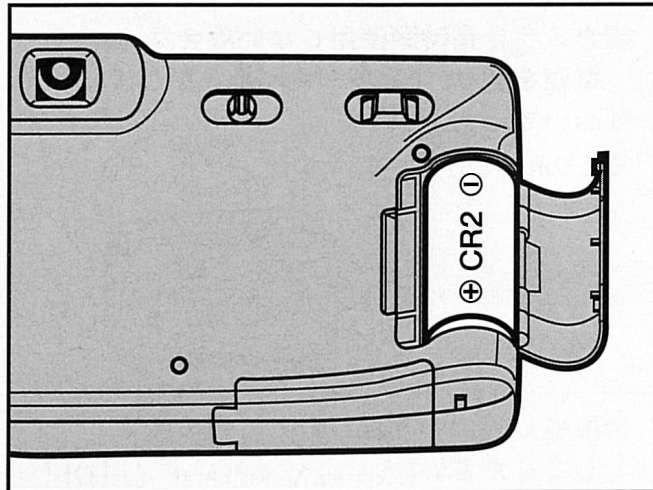


- 1** 電池が消耗すると、液晶表示部に電池表示が現われ、点滅します。電池表示が点滅したときは、新しい電池を準備していただき、なるべく早く交換することをおすすめします。他の表示が全て消え、電池表示が点滅したときは、シャッターは切れません。すぐに新しい電池と交換してください。
- ※旅行などで写真をたくさん撮られるときは、あらかじめ交換用の電池をご用意ください。

注：電池が消耗していなくても、低温により電池性能が低下し、電池表示が点滅することがあります。このときは、常温になれば、電池性能は回復します。



**2** 電池ぶたの溝に鍵等を差し込み  
電池ぶたを開けて、使用済みの  
電池を取り出します。



**3** 新しい電池を入れます。  
電池ぶた裏の⊕⊖表示に従って電池を入れ、  
電池ぶたを閉じます。新しい電池を入れると、  
電池表示は消えます。

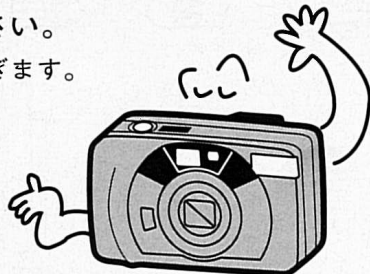
※電池交換後は、正しい日付・時刻に設定  
し直してください。(16ページ参照)



# カメラの保管やお手入れは…

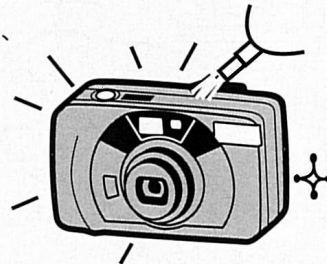
■カメラを長時間使用しない場合は、電源を切り、フィルム室ぶたを閉じておいてください。

電池の消耗を防ぎます。



■レンズ、ファインダーや測距窓は、いつもきれいに。

ゴミやほこりがついたら、ハケで払ってください。特にレンズに指紋がついたり、汚れのひどいときは、市販のレンズクリーニングペーパーにクリーナー液をつけて軽くふいてください。



■風通しのよい乾燥したところに保管してください。

高温多湿のところや、防虫剤の入ったタンスの中は避けてください。



■本体が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

ベンジンやシンナーなどの溶剤及び化学ぞうきんなどは使わないでください。ひび割れや変色することがあります。



# アフターサービスについて

- ① 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
- ② 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
- ③ 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

# カメラを修理に出す前に…

カメラの具合が悪いときは、下表の「症状」と「調べるところ」をチェックします。

## 症 状

## 調べるところ

<p>シャッターボタンを 押してもシャッターが 作動しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源が入っていますか。</li><li>●ストロボが未充電ではありませんか。</li><li>●セルフタイマーが作動していませんか。</li><li>●電池が正しい方向に入っていますか。 また消耗していませんか。</li></ul>
<p>液晶表示部に表示が 出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源が入っていますか。</li><li>●カメラを3分以上使わないで放置していませんか。</li><li>●電池が正しい方向に入っていますか。 また消耗していませんか。</li></ul>

## 症 状

## 調べるところ

できあがった写真が光線引き(光もれ)している。	●撮影途中、またはフィルム巻き戻し前にカメラのフィルム室ぶたを開けていませんか。
できあがった写真のピントが合っていない。	●写したいものにピント枠を合わせましたか。 ●指や髪などが測距部をおおったり、レンズ部に触れたりしていませんか。 ●シャッターボタンを押したとき手ぶれを起こしませんでしたか。 ●近距離で遠景ロック撮影をしていませんか。 ●ピントの合いにくい被写体を写していませんか。
電池の消耗が速い。	●電源を入れたまま保管していませんか。 ●フィルム室ぶたを開けて保管していませんか。

# 仕様

型 式	IX240レンズシャッター式ズームレンズ自動焦点カメラ
使用フィルム	IX240カートリッジフィルム
画面サイズ	16.7mm×30.2mm
プリントタイプ	C/H/P切り替え式
レンズ	キャノンズームレンズ 30mm～60mm F4～F7.8 7群7枚構成
ピント合わせ	自動焦点(フォーカスロック/遠景ロック)
撮影範囲	0.5m～∞
シャッター	プログラムAE式電子シャッター
露出制御(ISO200)	<p>ストロボAUTOモード・プログラムAE式自動制御 (自動) 30mm側：F4 ・1/40秒(EV 9.3)～F16 ・1/250秒(EV16) 60mm側：F7.8・1/60秒(EV11.8)～F19.2・1/165秒(EV16) 低輝度時…ストロボ自動発光 30mm側：約EV10.5以下 60mm側：約EV11.8以下</p> <hr/> <p>ストロボONモード…… ストロボの発光によりフラッシュマチック機構とプログラムAE式自動制御によりコントロール</p> <p>ストロボOFFモード……プログラムAE式自動制御 30mm側：F4 ・1/4秒(EV6 )～F16 ・1/250秒(EV16) 60mm側：F7.8・1/4秒(EV7.8)～F19.2・1/165秒(EV16) シャッタースピード1/4秒以下はバルブシャッター(MAX30秒)</p>
セルフタイマー	電子セルフタイマー 作動時間約10秒(作動中ランプとフィルムカウンターにより表示)途中解除可能
液晶表示	撮影モード(AUTO、ON、OFF、バルブ、赤目緩和、遠景ロック、スローシンクロ) フィルムカウンター、フィルムマーク、電池表示、デート表示



ファインダー (ファインダー-接眼部)	実像式ズームファインダー 表示：近距離撮影範囲枠、ピント枠 緑ランプ：点灯(撮影可能表示) 速い点滅(近距離撮影警告表示) 遅い点滅(手ぶれ警告表示) C/H/P切り替え式		30mm側	60mm側
		視野率	85%	85%
		倍率	0.35倍	0.67倍
フィルム感度の設定	自動セット ISO25~3200			
フィルム装てん	ワンタッチローディング方式			
フィルム巻上げ	自動巻上げ			
フィルム巻戻し	撮影枚数終了後自動巻戻し(途中巻戻し可能)巻戻し終了後自動停止			
撮影モード	「ストロボAUTOモード」、「ストロボAUTO・赤目緩和モード」、「ストロボONモード」 「ストロボON・赤目緩和・スローシンクロモード」、「ストロボOFFモード」 「ストロボOFF・遠景ロックモード」、			
ストロボ撮影範囲	30mm側：0.5~6.7m (ISO200) 60mm側：0.5~3.4m (ISO200)			
ストロボ充電時間	フィルム巻上げ後約5.0秒(電源ONで自動充電)			
撮影可能フィルム本数	約10本(25枚撮りフィルム、3Vリチウム電池使用、ストロボ使用率50%) ※当社基準による			
デート記録	磁気記録方式 年月日・月日年・日月年・時分・写し込みなし 選択可能			
その他の機構	オートオフ機能付き、三脚ネジ穴付き			
使用電池	3Vリチウム電池(CR2)			
大きさ	幅113.1mm×奥行58.7mm×高さ37.7mm			
重さ	約175g(ケース、電池、フィルム別)			

上記データは、常温(20℃)で、リチウム電池CR2を使用した時の値です。

## キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部  
〒108 東京都港区三田3-12-15 (東急三田ビル8F)

カメラ相談室 (製品取り扱い方法ご相談窓口)

東京 〒108 東京都港区三田3-12-15 (東急三田ビル8F)

☎(03)3455-9353

サービスセンター (修理サービスご相談窓口)

札幌 〒060 札幌市北区北七条西1-1-2 (SE山京ビル1F)

☎(011)728-0665

仙台 〒980 仙台市青葉区国分町3-6-1 (仙台パークビル1F)

☎(022)217-3210

新潟 〒950 新潟市紫竹山1-10-26

☎(025)246-8765

大宮 〒331 大宮市桜木町4-247 (OSビル1F)

☎(048)649-1450

千葉 〒260 千葉市中央区末広2-13-2

☎(043)268-5261

銀座 〒104 東京都中央区銀座5-9-9

☎(03)3573-7834

新宿 〒163-02 東京都新宿区西新宿2-6-1 (住友三角ビル地下1F)

☎(03)3348-4725

横浜 〒220 横浜市西区北幸2-6-26 (HI横浜ビル2F)

☎(045)312-0211

静岡 〒420 静岡市常磐町2-6-8 (トーカイビル3F)

☎(054)253-9010

名古屋 〒461 名古屋市東区東桜2-2-1 (高岳パークビル1F)

☎(052)939-1830

金沢 〒921 金沢市玉鉾2-266

☎(0762)91-8710

京都 〒604 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町513 (京都第一生命泉屋ビル2F)

☎(075)255-5953

梅田 〒530 大阪市北区中崎西2-4-12 (梅田センタービル別館)

☎(06)373-8181

神戸 〒651 神戸市中央区雲井通り4-2-2 (神戸いすゞリクルートビル8F)

☎(078)291-0535

岡山 〒700 岡山市柳町2-6-25 (朝日生命岡山柳町ビル3F)

☎(086)221-8678

広島 〒730 広島市中区大手町3-7-5 (広島パークビル1F)

☎(082)240-6711

高松 〒760 高松市紺屋町4-10 (鹿島紺屋町ビル1F)

☎(0878)23-4681

福岡 〒812 福岡市博多区美野島1-2-1 (キヤノン販売福岡ビル1F)

☎(092)411-4173

沖縄 〒900 那覇市松山1-1-19 (安田生命那覇ビル8F)

☎(098)866-7933

カメラ技術センター (修理サービスご相談窓口)

東京 〒140 東京都品川区東品川1-2-5 (東天王洲ビル5F)

☎(03)3450-2731

大阪 〒540 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3

☎(06)941-1076

営業所

大分 〒870 大分市城崎町1-3-31 (富士火災大分ビル)

☎(0975)37-4117

休業のご案内

新宿 (日曜日、祝日、第3木曜日) その他 (土・日曜日、祝日)

営業時間のご案内

新宿: 10:00~18:00 梅田: 9:30~18:00 その他: 9:00~17:30